


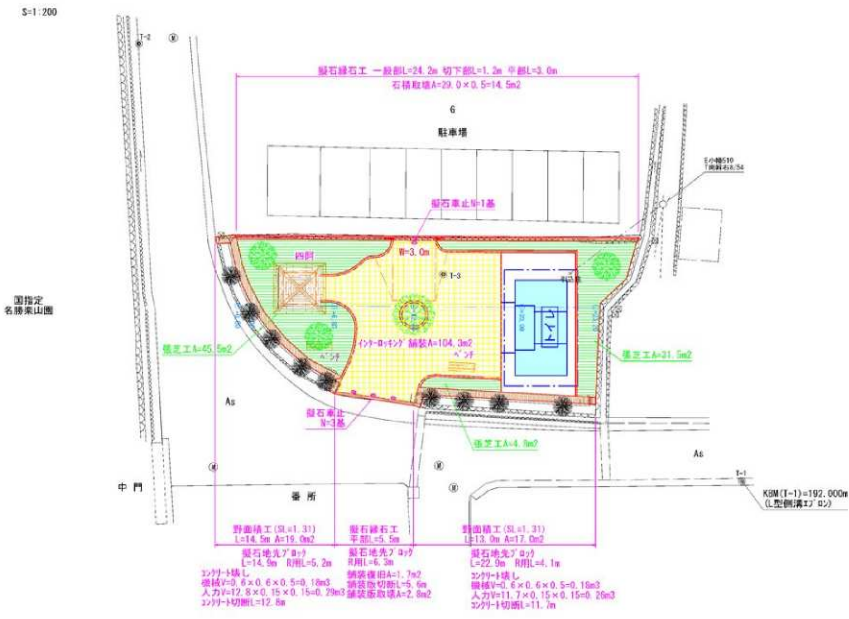



平成28年度進行管理・評価シート
甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）
（最終変更平成29年3月24日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進に向けた庁内の連携体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	—
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 名勝楽山園周辺集計整備事業	2
2 雄川堰整備事業	3
3 松浦氏屋敷保存・修理事業(旧小幡藩武家屋敷)	4
7 歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講演会	5
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・防災	6
2 文化財の普及・啓発	7
3 重点区域における伝統的建造物群保存地の制度の導入に向けた取組み	8
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 かかあ天下 日本遺産 ほか	9
⑥その他(様式1-6)		
1 施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業	10
口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	11

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
計画推進に向けた庁内の連携体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	甘楽町歴史的風致維持向上計画推進会議及び同計画推進プロジェクトチーム、各事業者との連携を図りながら適切に計画を推進する。計画掲載事業の進捗状況の確認、評価を行い、定期的な報告、意見の聴取等を実施し、実効性を高めるとともに、必要に応じた計画変更を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
組織改編により、建設課、産業課、企画課及び社会教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会・専門部会及び庁内各部署からの意見聴取により事業の進捗管理・評価について協議を行った。特に重点区域内で実施されている事業並びに今後実施が予定される事業については、まち歩きを実施しながら町の歴史的風致の維持及び向上のための施策への理解と今後の事業展開に対する提案のとりまとめを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町組織改編により、異動はあったものの、連携体制は維持されている。各部署との連携・調整、庁内横断的な意見聴取により体制強化を今後も図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 30%;"> <p>H27. 4</p> <p>【企画課】 調整係: 2名 計画係: 2名</p> <p>【建設課】 都市計画係: 4名 建設係: 3名</p> <p>【産業課】 商工観光係: 4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係: 3名</p> <p>【その他部局】</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 30%;"> <p>H28. 4</p> <p>【企画課】 企画調整係: 3名</p> <p>【建設課】 都市計画係: 4名 建設係: 3名</p> <p>【産業課】 商工観光係: 4名</p> <p>【社会教育課】 文化財保護係: 3名</p> <p>【その他部局】</p> </div> </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>甘楽町歴史的風致維持向上計画に係る会議等開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <策定委員会専門部会ほか> 今年度の事業推進について <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年 5月13日 <松浦氏屋敷整備委員会> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月13日 ・平成28年11月 9日 ・平成28年12月12日 <推進協議会> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年 3月17日 </div> </div>			
<p>■ 推進協議会 (H29.3.17)</p>			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
名勝楽山園周辺修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～平成31年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	名勝楽山園周辺の景観保全のための修景整備を図るとともに、休息施設等の交流の場を設けることで来訪者との交流を推進し、他施設との回遊性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、名勝楽山園の東に近接した用地を取得し、便益施設の整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回遊性及び景観の向上のため、事業箇所を広げて整備を進めていきたい。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■事業着手前</p> 		<p>■整備後</p> 	
<p>■修景整備計画図</p> 		<p>平面図</p>	

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
雄川堰整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成31年度		
支援事業名	農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)		
計画に記載している内容	町の歴史的風致の中核をなす雄川堰(大堰)の石積み改修を行うことにより、雄川堰の保存・活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度は、重点区域内の雄川堰・洗い場の改修10箇所、石積み崩落箇所を2箇所修復した。また、小堰の石積み改修を実施し、景観の維持に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の洗い場等の修繕に寄せる期待は大きい。また、地元説明会等を通じて、雄川堰の資産価値を啓発していく必要性などの意見も寄せられている。雄川堰に架けられた橋の修復には、設置位置などを含め、景観に配慮したものとしていくため、住民との協議が大切となってくる。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■大堰洗い場改修</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  ➡  </div>			
<p>■石積み崩落箇所修復</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  ➡  </div>			
<p>■小堰石積み改修</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  ➡  </div>			

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成28年度 現在の状況
松浦氏屋敷保存・修理事業(旧小幡藩武家屋敷)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成28年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(H25～H26:都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業:H27～H28)
計画に記載している内容	武家屋敷地区にある松浦家は、武家の屋敷構えを良好に残し雄川堰の地割と一体となっている。江戸時代の武士の生活環境と当該地域の歴史を知る上で極めて重要な資源である。所有者の理解を得て一般公開しており、保存修理及び耐震改修を行うことで、武家屋敷群の充実化が図られるとともに見学を目的とした来訪者の増加が期待できる。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成25年度に発足した有識者等からなる整備検討委員会において保存・改修の基本方針が決定された。主屋、庭園ともに発掘調査を行った結果により、江戸時代後期の形態に復原修理による整備を行うこととして平成27年度に着手した。また、庭園部の池については、戦前の原形に近い形状が確認され、平成28年度に整備完了により回遊性の向上とともに往時の建築様式を紹介でき、来訪者増が期待できる。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	解体時の柱材調査により、間取りや壁位置を考証するための確認資料が整い、復原整備に反映させることができた。
状況を示す写真や資料等	
<p>■耐震改修状況確認(H28.10.13)</p> 	<p>■整備委員会開催状況(H28.11.9)</p> 
<p>■主屋解体状況(H28.12.12)</p> 	
<p>■整備計画図</p> 	

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講習会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------------	---

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 町の文化財及び歴史等について講習会を開催し住民の啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

講演会等の開催により住民の歴史・景観・文化財等に関する意識と、これらの資産・遺産を活かしたまちづくりへの関心が高まっている。本年度は、歴史家の加来耕三氏を招き、甘楽の地で小幡藩を築いた織田信雄の人物像を語る講演会を開催し、町の歴史・文化への意識啓発が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 町の資産となる歴史的風致は、歴史的な建造物等による良好な景観のほか、伝統工芸品創作など人の営みや自然環境も含めて多岐分野に関わるため、今後、より多くの人々に認識してもらうためには、講演会や作品展のみならず、手法にとらわれない事業を展開していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■加来耕三氏講演会(町広報) 平成29年2月5日 来場者数440人



来場した皆さん



加来さん

第9回甘楽町民の日記念事業

2月1日の甘楽町民の日になみ、5日にさまざまなイベントを実施しました。大勢の皆さんにご参加いただき、町発足58周年を祝いました。

加来耕三氏講演会

歴史がテーマのテレビ番組の時代考証や監修。またコメンテーターとしても活躍されている加来耕三さんをお招きし、織田信長の次男で、甘楽の地で小幡藩を築いた織田信雄の生き方と人物像を語る講演会を町文化会館で開催しました。



来場者の質問に答える加来さん

加来さんは、「歴史を知れば、たくさんの人物や場面に会え、その出会いを自分の糧としていくことができる。また、歴史は暗記するものではなく「考える力」を育んで、よりよい世界をつくる原動力になり得るものである」と訴えました。

約440人の来場者は、加来さんのユーモアを交えた軽快な語り口調で語られる、魅力あふれる講演を熱心に聞き入りました。



普段公開されていない作品に見入る来場者



町所蔵作品のほか、須田さん自身が所有する作品も展示

織田宗家にまつわる品々を展示

個人蔵の「織田信雄肖像画」、町所蔵の「小幡氏紋付赤備具足」、小幡八幡宮所蔵の「円空の木彫仏像」などのほか、長岡記念ギャラリーの展示品(町所蔵)の絵画も展示。

甘楽町お宝展示会

須田賢司氏の木工藝作品展示

人間国宝であり、町名譽町民の須田賢司さん(国峰)の指物を駆使した雅趣に富んだ作品を展示。

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。 甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災体制を整えるものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「国指定名勝楽山園消防計画」を策定(平成26年6月5日)したほか、消防団による文化財周辺の水利確認や夜間の警戒巡視による予防消防に努めると共に、有事の際に備えた地域防災訓練を町内で実施している。文化財近隣においては、自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動により住民意識の向上が図られた。 その他、町では(毎年)1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施し、防災意識の向上を図っている。また、地域で保管管理する重要無形民俗文化財の修繕、新調などの支援により、文化財の保護・継承にも成果を上げた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
<p style="text-align: center;">■重要無形民俗文化財用具修繕 (平成28年12月) 「稻倉神社の太々神楽」</p> 			

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めた。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名勝楽山園の夜間特別公開などを実施。また、毎年11月3日に民俗芸能大会を開催し、古くから伝承されている重要無形民俗文化財の発表の場を設けている。なお、文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力し文化財の一般公開を進めるとともに催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図った。一般を対象に募集した文化財めぐりが好評であったほか、教職員文化財めぐりは、町内小中学校の教職員が生徒・児童に対して、町の歴史、文化を身近な教材として紹介できる様にするすることで、普及活用できた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
		■名勝楽山園「御殿のお月見会」 文化財理解を深めるため、夜間特別公開(琴、篠笛の演奏会を開催) 平成28年9月15日 入場者数約555人	
		■民俗芸能大会 獅子舞、神楽舞など、12団体、236人が出演し伝統芸能を披露した。本大会が伝統芸能の保護、後継者育成の場ともなっている。 平成28年11月3日 入場者約1,300人	
		■茅葺屋根工事見学会 松浦氏屋敷の復原工事を間近で見学することで、町の歴史・文化資産を理解してもらう場となった。 平成28年7月16日～17日 参加者144人	
		■教職員文化財めぐり 甘楽町に新たに赴任してきた教職員を対象に文化財めぐりを実施。地域の貴重な文化財や歴史を授業教材として取り上げるための事業 平成28年8月2日 参加者24人	

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>小幡・町屋地区の伝統的建造物が連なるについては、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>重点区域内においては、後継者が減少する中であるが、若い世代でも町屋地区の景観を形成する養蚕農家を修繕して残していきたい考えをもっており、支援策などの問い合わせが数件あったほか、ごく小規模な修繕であるが、景観に配慮した修復を自費で行った事例も見受けられた。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		<p>当初調査からの時間経過も考慮しながら、まち並み、建物の現地再調査などを行う必要があり、関係機関の指導のもと住民が主体となった体制を構築したうえで推進していかなければならない。地元代表者との打合せ、協議を行ったが、時間と慎重を要する面があり、当該地区における無電柱化や広告類などの景観整備、中央を北流する雄川堰の石積みや架橋の保存改修整備などを含め、地域住民との対話を基調として取り組んでいく。</p>	
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
座繰りで糸引き挑戦	H28.7.10	上毛新聞
「武家屋敷」復元でかやぶき作業見学	H28.7.15	上毛新聞
大名庭園に中秋の名月	H28.9.16	上毛新聞
ソバ豊作願い獅子舞	H28.10.3	上毛新聞
連石山に遊歩道完成	H29.2.6	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信した。

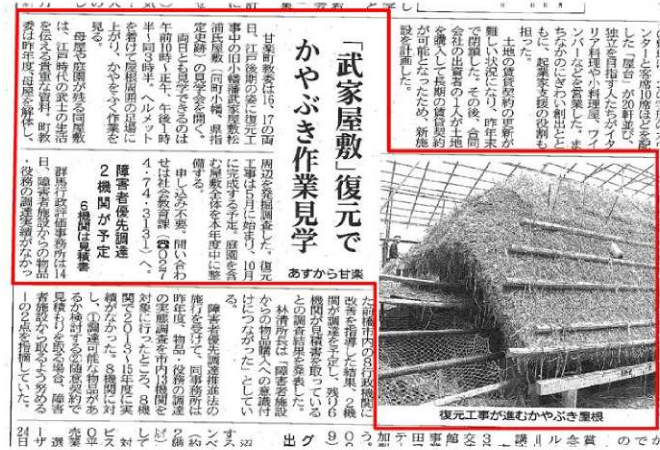
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の受け入れ態勢の強化・資質の向上を図るとともに必要に応じて研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

■平成28年7月10日 上毛新聞



■平成28年7月15日 上毛新聞



■平成28年10月3日 上毛新聞



■平成28年9月16日 上毛新聞



■平成29年2月6日 上毛新聞



評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成28年度

項目

施設整備後の活用と歴史文化啓発に関する事業

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的・形成建造物をはじめとする施設整備・活用と「キラッとから観光キャンペーン」をはじめとする歴史・文化を基調としたイベント開催で来訪者数・施設利用者数の増加しており、甘楽町の魅力発信による認知度向上に寄与している。また、施設管理やイベントの実施における、ボランティア等の協力者数が増加している。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

観光キャンペーンや各イベント実施にあたっては、住民や来訪者の声を反映させたものとしていく必要があり、意見徴収を継続して行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■雛人形展(平成29年2月11日～5月31日)



■昭和中期の町並み写真展
(歴史的風致形成建造物「有賀茶店蔵」)



■「楽山園友の会」(H24.7結成)ボランティア清掃



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度 | 平成28年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 甘楽町歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 平成29年3月17日

(コメントの概要)

- ・重点地区における歴史的風致維持向上のための整備は、順調に進捗している状況にある。また、庁内における文化財部局とまちづくり部局との連携により、適切に事業実施にあたっており、各事業が相乗的な効果を生んでいる。
- ・重点地区を中心とした各施設間の周遊性を考慮した経路の整備を期待する。

(今後の対応方針)

各施設の保存・活用を進め、重点区域を中心とした施設間の回遊性向上を図りながら整備を進めていく。